

掲載新聞

日刊工業新聞社

掲載年月

2026年 2月 26日

掲載対象

特集「あすを創る」

杉山重工（杉山大介 製造から作業レイアウトは金属製のため、粉体の粗粉碎工程で業界社長）は、セラミックト、製品特性調整な体の焼成時に金属の反スタンダード機器としてや電池材料、磁性ど、一貫生産に向けた応や混入によるコンタミが位置付けられ、高い材料、電子素材、高分子提案が可能だ。中でミが発生していた。同評価を得ている。素材など幅広い粉体やも、コンタミネーション社はキルンの内面や粉こうした技術力をた化学材料を生成する機（異物混入）のないと接触する部位をセラより、さまざまな企器やプラントの設計か高純度加工や高度な真ミックスで製作するこ業から相談が舞い込ら製造まで手がける。空加工で業界をリードとに成功したことで、む。近年は自動車の電

## 次世代材料 研究、開発を支援

### 粉体機器の設計、製造一貫対応

計量から混合、粉碎、してきた。成型、乾燥、貯蔵まで 2017年には「真し、新たな製造工程を製品に至るまでのさま空セラミックロータリ提供している。さまざまな工程で独自のノールン（回転焼成 また、同様にセラミックスを採用した粗粉中でも、希土類磁石なウハウと技術を持つ。炉」を同業他社に先 駆けて開発、製品化し 碎機「コルゲートローど活性度の高い材料は このため、顧客が開発 関連特許も取得した。 ルクラッシュャー」は、 大気中の酸素と反応し する製品の計画段階か 従来よりターキル 金属コンタミを嫌う粉 て発火するため、真空

や無酸素の水素雰囲気とし、容器からタンク「技術営業者」と呼ば、機器や周辺装置を還元や吸蔵処理がでへ材料を移送する際、ぶ。製品を売り込むの設計、製造し、据え付 きる「多目的水素ローバルブ面の残材がなく、ではなく、顧客の困り けまで担当する。 タリーキルン」を開 大気暴露しない構造とごとの相談に乗るの また同社では、部品 発、製品化した。 なっている。取り扱いが、基本姿勢だ。問いの加工から社内での一 買生産体制を敷く。こ のため、スタートから 完成まで、製造現場も 含めた全社員が携わ る。顧客の生産現場で のトラブル発生時で も、夕方に連絡が入れ ば、交換部品を製作し て、当日中でも据え付 けまで可能だ。結果、 「顧客との信頼、つな がりが深くなってい く」（杉山社長）とい



スプリットコーンバルブ(SCV)のデモ機

型バルブ「スプリット 象として、販路拡張を ーズを満たすために自 社に設置されている多 器を設計、製造できる 技術力を持つ企業は少 ない。次世代材料の研 究、開発に同社は欠か せない存在だ。